

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
生態系保全啓発事業				中区役所 企画総務課			
事業目的		事業内容		活動指標		R5	R6
中区の豊かな自然環境が保有する生態系について周知を行い、その保全に向けての機運を醸成する。		大阪公立大学教授の協力の下、子どもとその保護者を対象とした生態系保全啓発イベントを開催する。 また、イベントに参加できない区民も生態系への関心を深めることができるよう、イベント当日に観察できた生き物の写真をホームページに掲載する。		参加人数		30人	39人
				アンケート結果 (生き物・生態系保全への関心が向上したか)		100%	100%
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
◎	大阪公立大学内で生態系について区民が専門的な知識を持つ教授から学ぶ機会を提供することで、生態系保全への関心が高まり、区民の行動が変わることが見込まれる。それにより区内の生態系保全の機運が醸成されるきっかけを創出しているため、区が事業を実施する妥当性が高い。	△	大阪公立大学の教授にイベントの講師、学生にボランティアの協力を依頼し、イベントの企画を進めた。	○	中区の生態系保全について区民に啓発するため、大阪公立大学内でイベントを開催するとともに、参加者を中区外に在住する応募者からも選定した。このことで、地域ごとの生き物の特性について中区民だけでなく、他区民にも啓発することができた。	○	参加者は主に中区ホームページや環境共生課に協力を依頼するなどして募集をしたため、事業費用は主に教授や学生ボランティアへの謝礼金にとどまり、費用対効果の高い事業といえる。
⑤自立発展性		総合評価					
△	現在は、自立的に発展させられる事業の構成となっていないが、今後、市民が自発的・継続的に生態系保全に関する取組を行える仕組みの構築について検討する。	○	募集定員に対し、2倍以上の多数の申し込みがあり、事業内容が区民ニーズに合致していると考ええる。 また、参加者アンケートにおいて生き物・生態系保全への関心が向上したとの回答が100%であることから、参加者に対して十分に啓発を行うことができたと考ええる。 以上より、区民の生態系保全に向けての機運醸成のきっかけを生み出すことに貢献できていると考ええるため、事業効果が高いといえる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	募集定員に対して多くの応募があったことから、今後は募集定員やイベントの実施回数を増やすなどより多くの人が参加できるよう企画する。 また、イベントに参加できない区民も生態系への関心を深めることができるよう、ホームページへの掲載に加え、区役所でパネル展を実施するなど、より効果的な事業になるよう検討していく。						